

令和7年度

第7期第1回横浜市市民協働推進委員会 資料5

# 横浜市市民協働推進センター事業紹介



センター長 韓 昌燾

# 横浜市市民協働推進センターとは

設置：2020年4月

場所：横浜市市庁舎1階（2020年6月より）

スタッフ数：合計13名（常勤4名、非常勤9名）

運営：認定NPO法人市民セクターよこはま・横浜市市民局



横浜市市民協働推進センターは、横浜をより良くしたい市民の方々や、行政が重なり合う空間としてオープンしました。地域団体・NPO・企業・大学・行政など、組織の垣根を超えて、取り組みたい課題や、気になるテーマで繋がり、協働して、未来をつくっていくための空間です。地域の課題を解決するプロジェクトや、主体的な実践を一つ一つ積み重ねていく皆さんを応援し、コーディネートや伴走的な関わりを行うことで、横浜がもっと豊かに、暮らしやすいまちになることを目指します。



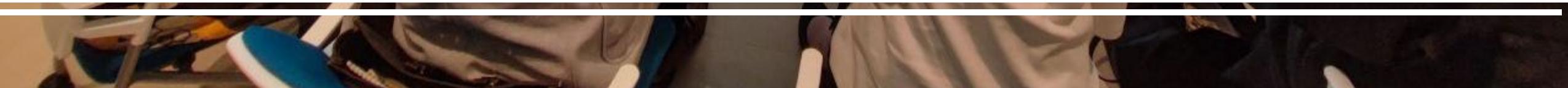
## 市民協働提案の受付・支援



**キックオフミーティング  
(事業計画説明)**



**市民団体との連携・協働**





**協働の実現に関する知識・考え方を学ぶ**

人材育成事業「スタートアップ：フィールドワーク」



協働の実現に関する知識・考え方を学ぶ





## 優れた先進事例の収集・発信

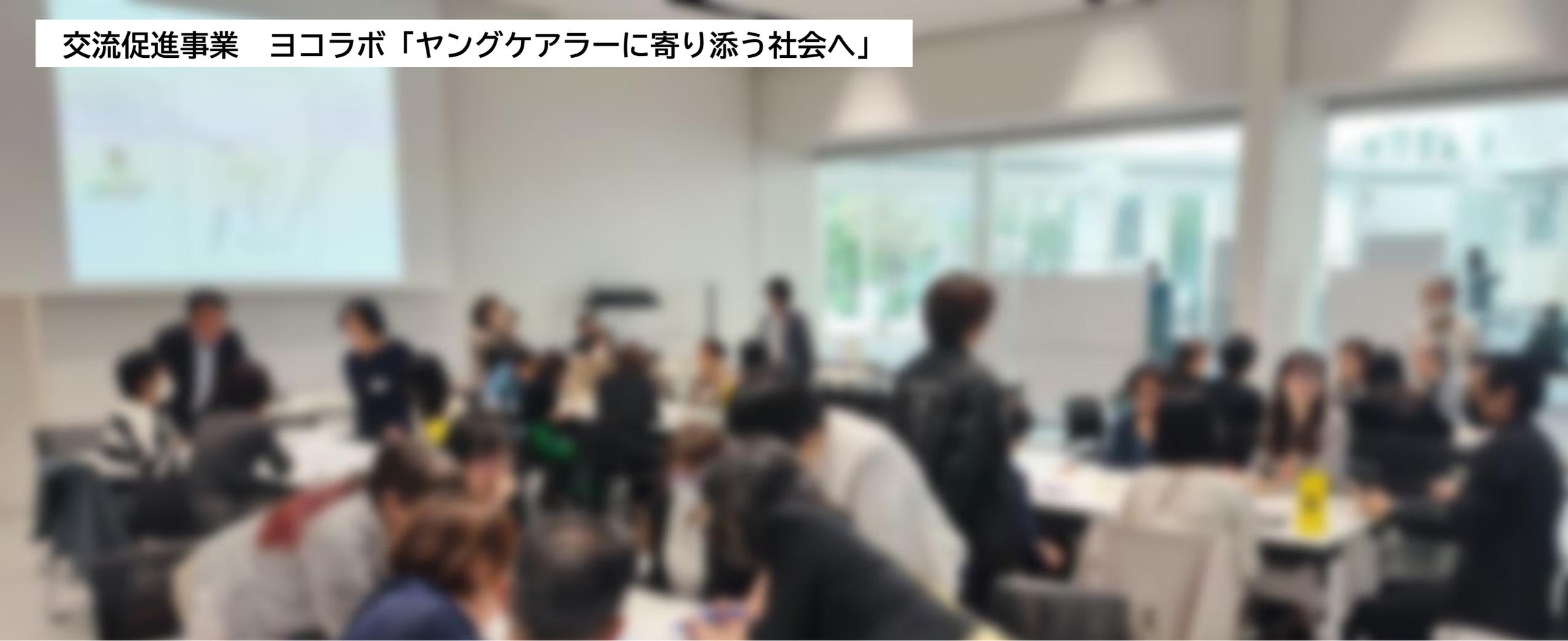




中間支援機能を持つ団体や施設の連携

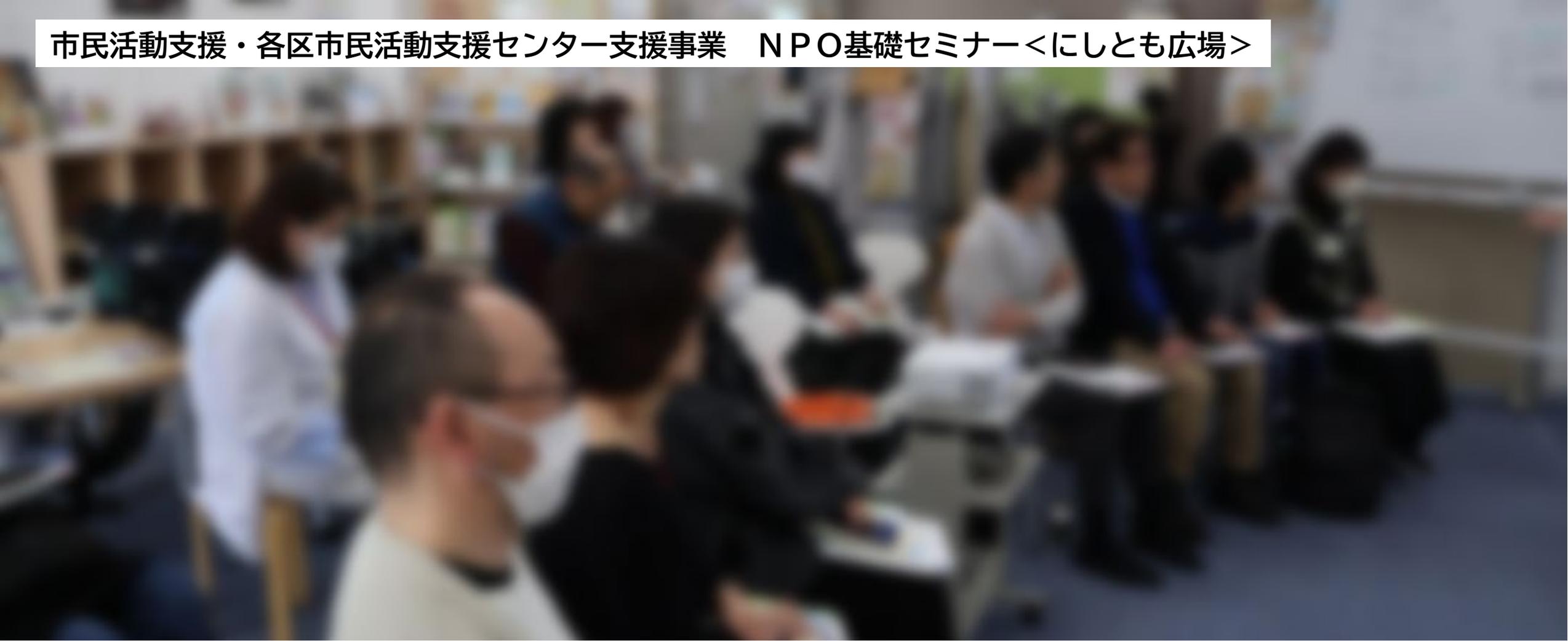


交流促進事業 ヨコラボ「ヤングケアラーに寄り添う社会へ」

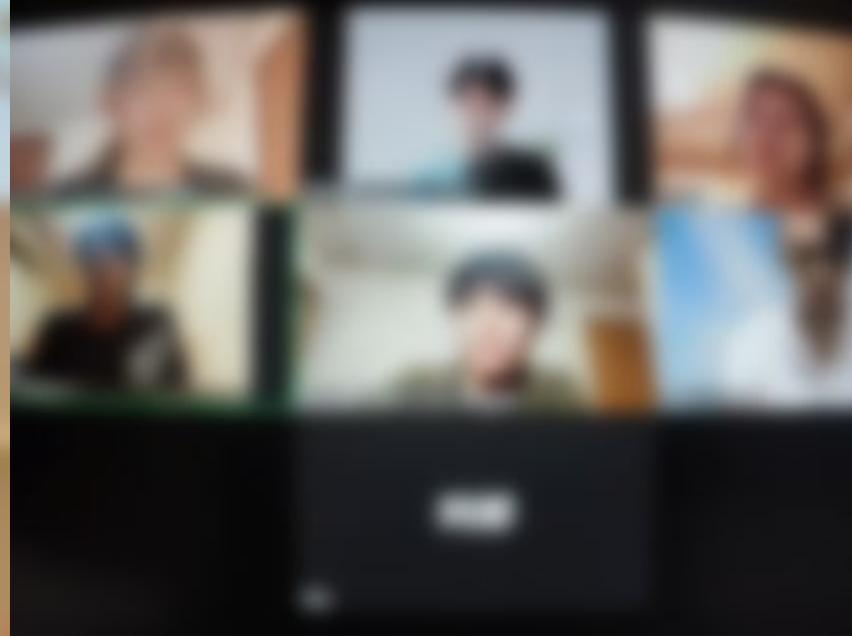
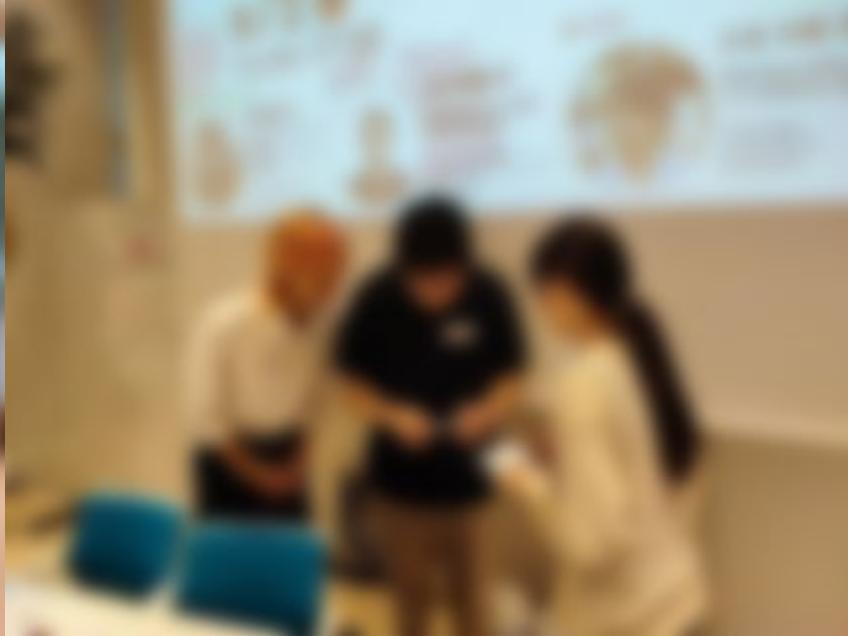
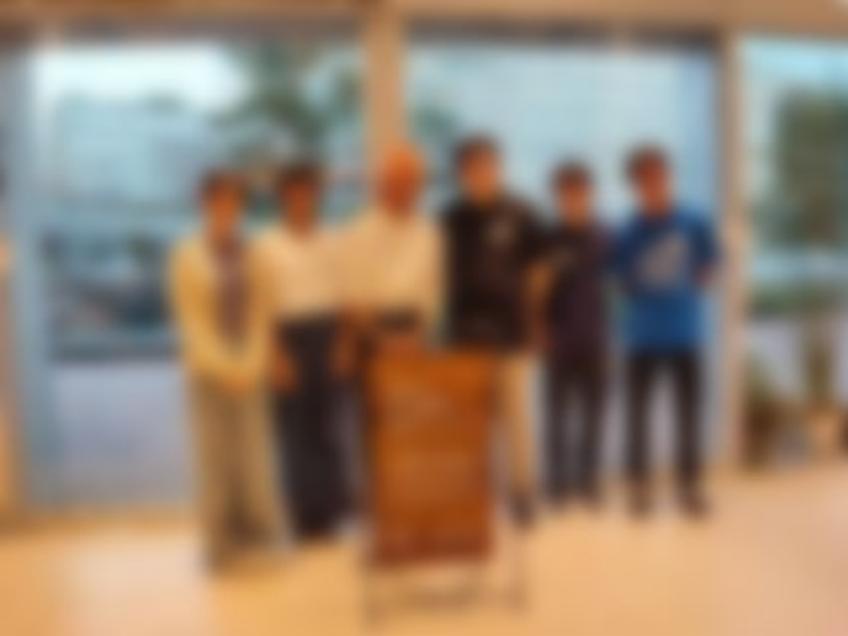


協働・共創の一体的取組の推進

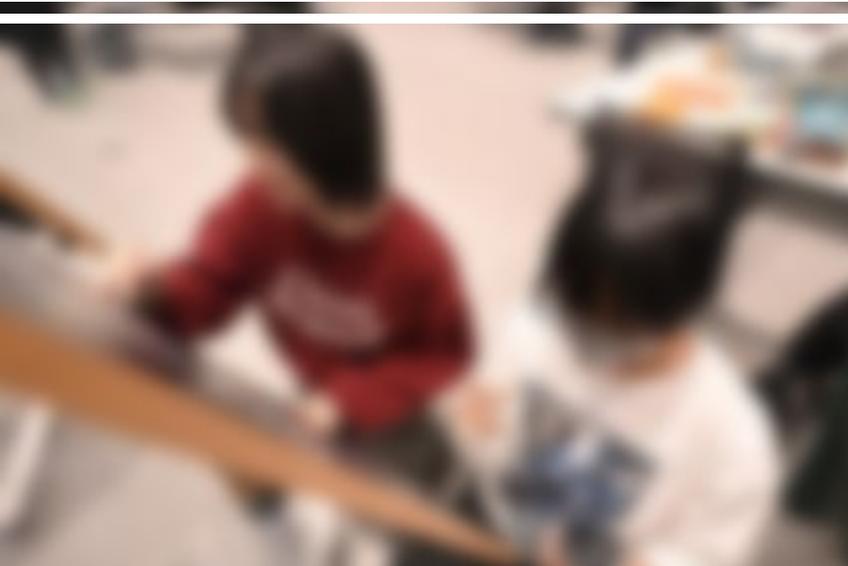
市民活動支援・各区市民活動支援センター支援事業 NPO基礎セミナー<にしとも広場>



各区市民活動支援センターとの連携



## 若者主体の団体との新たなネットワーク形成 (2024年度)



# 事業構成

## 住みたい・住み続けたい横浜

新たな課題解決策を生み出し、社会課題や地域課題に取り組む民間主体のすそ野を広げる

### 市民活動活性化

### 課題解決

### 協働誘発

### 協働スペースを有効活用

#### 総合相談

- ・ 協働提案
- ・ 市民活動

#### 情報蓄積・発信

- ・ 好事例ヒアリング記事
- ・ 好事例訪問レポート
- ・ 企画開催レポート
- ・ メルマガ・SNS等

#### 区活センター連携・支援

- ・ 区市民活動支援センターへのヒアリング
- ・ 日常相談
- ・ 企画ノウハウ提供

#### 市民活動支援セミナー

#### 課題解決プログラム

- ・ 課題解決モデルプロジェクト
- ・ 協働メンバーズ

#### 協働コーディネーター強化

#### 企画開催

- ・ セミナー・WS
- ・ 交流促進
- ・ ネットワーキング
- ・ 人材育成
- ・ 協働共創の視点

#### 施設運営管理

- ・ スペースA B運営
- ・ 協働ラボ
- ・ 協働イベント
- ・ その他

# 令和7年度のテーマ

課題解決・協働誘発 令和7年度テーマ

## 「皆がつくる安全・安心なまちづくり」

- 上記テーマに沿った地域の多様な主体の交流促進プロジェクトにより、「地域を豊かにする取り組みのプロセスを学び、自分の地域に持ち帰り活気を生み出す人」を育成します。
- セミナーや交流イベント等も、上記テーマに沿って実施します。
- 既存の活動団体、ステークホルダーとのネットワーキングを強化します。

# 令和7年度の取組概要

## 1 市民活動活性化

- 相談件数：目標 1,000件/年
- 情報蓄積・発信・活用：目標 メルマガ毎月配信、地域好事例の取材発信
- 区域支援：目標 18区訪問によるヒアリング・情報提供、  
日常的な運営上の相談対応による区市民活動支援センターとの  
連携・支援

## 2 課題解決

- 「安全・安心なまちづくり」のための、課題解決モデルプロジェクトの実施
- 地域活動の担い手創出のための、課題解決メンバーズ（※）の育成

（※）地域を豊かにする取り組みのプロセスを学び、自分の地域に持ち帰り、活気を生み出す人

# 令和7年度の取組概要

## 3 協働誘発

### ➤ 学び・つながる場としての企画・イベントの実施

(ミズベサロン、協働HUB～中間支援団体NPO事務局長交流会～、社会課題とソーシャルビジネスセミナー、協働ステップアップ～地域を豊かにするセミナー～、社会課題解決手法1DAYワークショップ、組織基盤強化会計セミナー、協働・共創の一体的取組)

## 4 協働スペースの有効活用

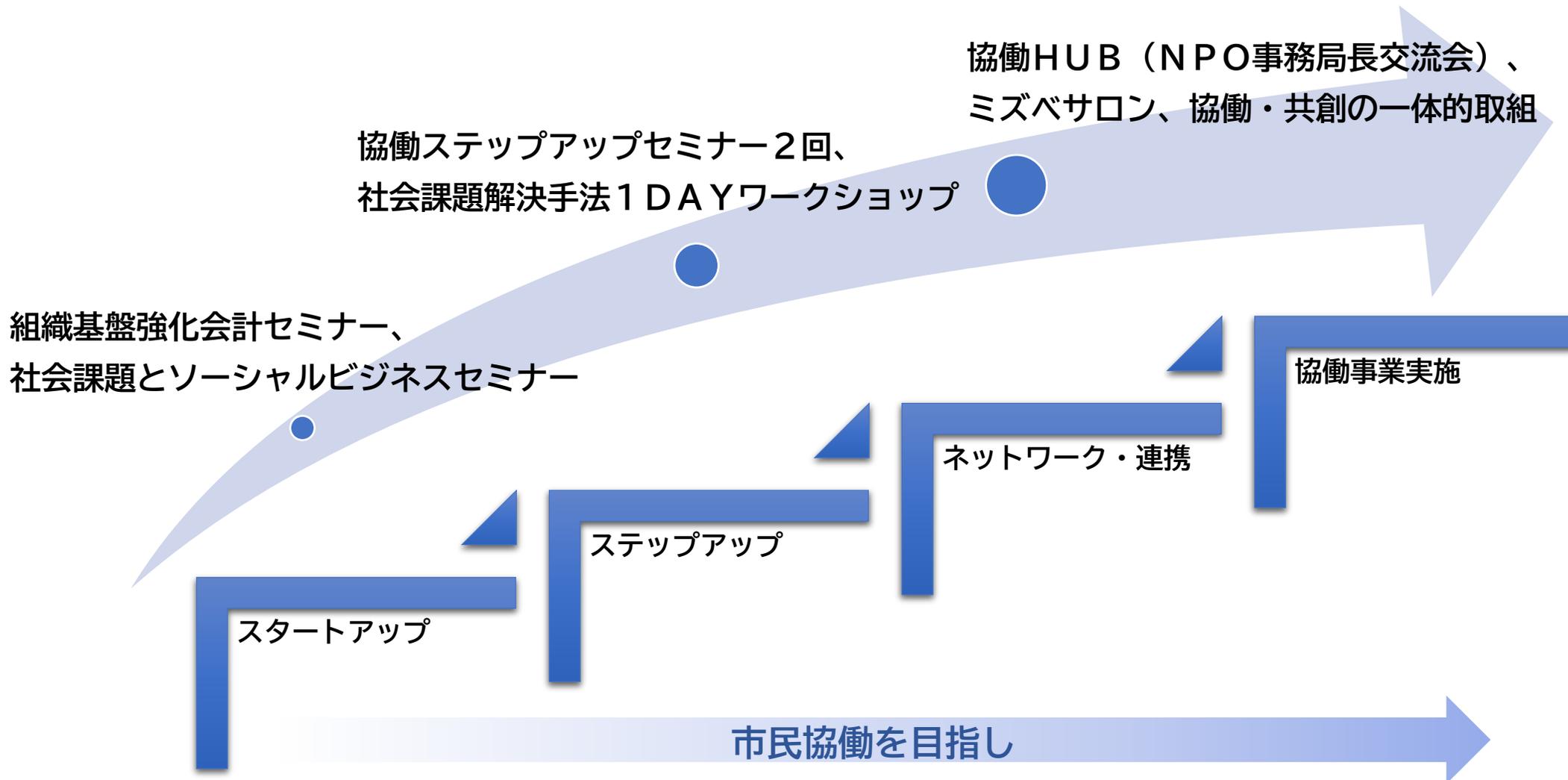
➤ 開館日数：346日/年

➤ 利用促進：利便性向上のための予約システムの運用

➤ 利用者数：目標 1万2千人/年（協働ラボ）

# 令和7年度の取組概要

## 3 協働誘発（各企画の位置づけ）



# 令和7年度の取組概要

## 3 協働誘発（各企画の目的・対象）

	企画名	目的				対象
		基盤強化	社会課題 解決	交流/ 連携促進	人材育成	
市民 活動 支援	組織基盤会計セミナー	○			○	会計担当者及び役員
協働 誘発	社会課題とソーシャルビジネスセミナー	○	○	○	○	起業家、ビジネスで社会貢献をしたい方
	協働ステップアップセミナー		○	○	○	理論や実践からの経験を学びたい個人・ 団体等
	社会課題解決手法ワークショップ	○	○	○	○	個人・団体・行政職員等
	協働HUB ～中間支援団体NPO事務局長交流会～	○		○	○	市内外の市民活動団体
	ダイアログ（協働・共創の一体的取組） ～企業、市民活動団体、行政等の対話会～			○	○	企業・団体・行政等
	課題解決モデルプロジェクト/メンバーズ		○	○	○	団体・自治会・町内会・大学・企業等
	ミズバサロン～行政職員向け対話交流会～			○	○	行政職員

# 課題解決モデルプロジェクト

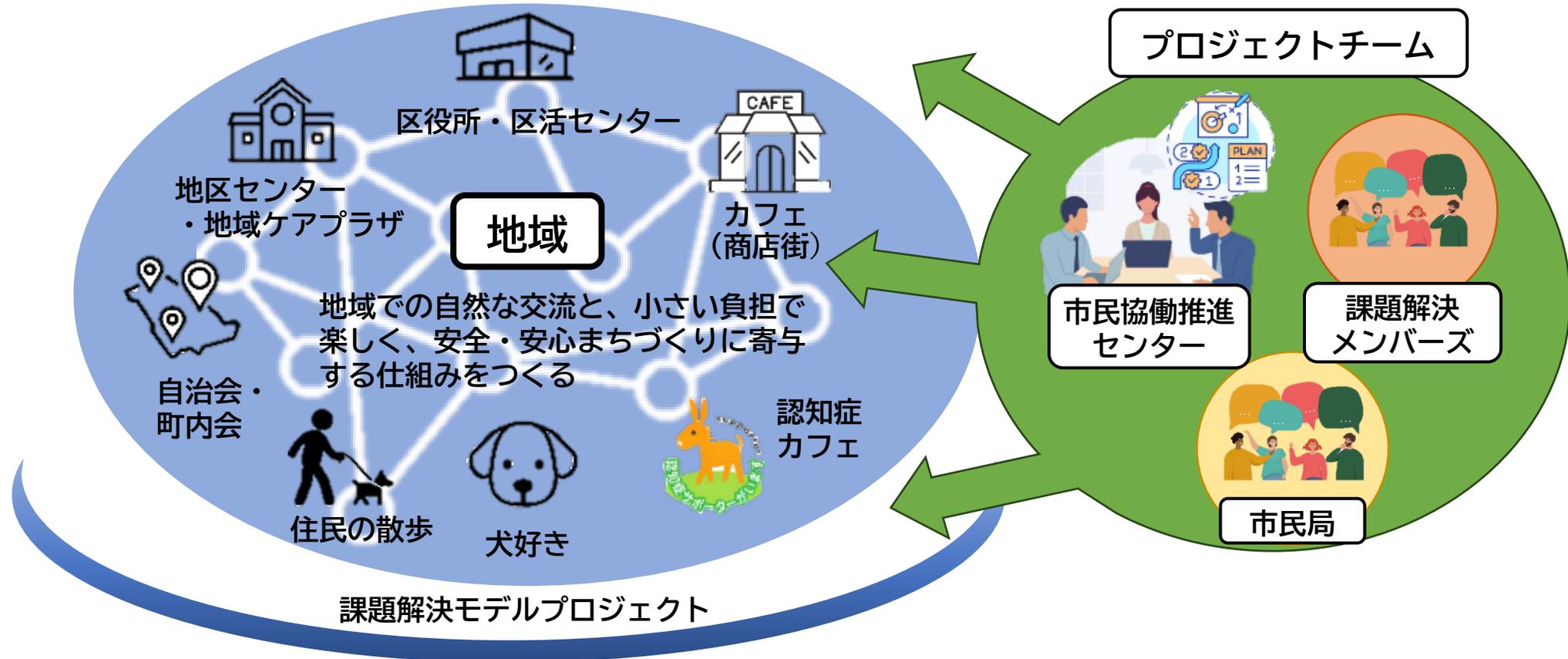
## 横浜の現状

- ▶ 横浜市の自治会町内会加入率は令和6年に66.7%となり、少子高齢化や単身世帯の増加により地域活動の活気が低下している現状があります。
- ▶ また、市民活動も同じく活動の担い手の高齢化が進んでいること等から、NPO等の団体を育成・支援することのみでは、地域の課題解決が困難な状況にあるととらえています。
- ▶ そこで、横浜市市民協働推進センターでは、今年度新たに課題解決モデルプロジェクト（多様な主体の連携により課題解決モデルをつくる取組）を実施します。

令和7年度のテーマ 「皆がつくる安全・安心なまちづくり」

# 課題解決モデルプロジェクトイメージ図

地域にある異なる主体をつなぐことにより、令和7年度テーマ「皆がつくる安全・安心なまちづくり」を実現します。



# 繋がりが未来を創る！

横浜市市民協働推進センターは、以下のことに取り組みます。

- ・ 連携・協力による地域・社会課題の解決や地域の魅力づくりに取り組みます。
- ・ 地域をより良くする活動をしている人々がつながり、集える環境を提供します。